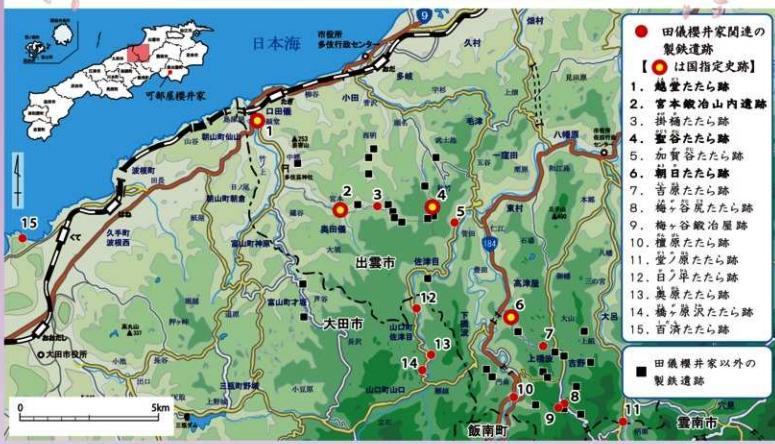


## 田儀櫻井家関連遺跡・周辺マップ



## 田儀 櫻井家年表

年	西暦	おもな出来事
正保 元	1644	櫻井三郎左衛門直重(河原屋利左)が篠山東阿蘇郡新市宿(現・広島県庄原市)から仁多郡上阿井村(現・出雲町)へ移り込む。
江戸時代 初期	不明	櫻井直重が神門奥田権守(現・多伎町奥田義)へ進出し、居宅を構え鐵山を開発する。
延宝 3	1675	直山の嫡子である門直重(河原屋利左)が可部屋から分家し、奥田権守に移り込み開拓を進める。
元禄 4	1681	出雲地方で天秤吹が始められる。
元禄 7	1684	奥田村宮本山内に形成されていることが確認できる。
元文 元	1738	宮本に金屋屋社が造立される。
明和 8	1771	石見見横道の赤平太郎へ越前たを賣り請ける。
天明 4	1784	上野波村(現・佐渡上郷)原から佐津目村(現・大田市山口町佐津目)に平べらたら場の操業場所を移す。
享和 3	1803	備の管理(舞人主とし)より届けが高屋から宮本屋となる。
文化 4	1807	山口村(現・大田市山口町)黒谷で鍛冶屋を操業する。
文化10	1813	家替を行ひ、神門をつめる。
文政 4	1821	10代四郎直重・智助院を、一ノ保田村(現・佐野町一ノ保)より奥田権守・移転開拓し、田儀片山と名づける。
文政 4	1821	日)平べらたら場の吉野村(現・佐野町吉野)に別へたら場の操業場所を移す。
文政 5	1822	山口村黒谷から吉野村と原から移転の操業場所を移す。
文政 11	1828	石見見島井村(現・大田市島井町)の朝日平太郎、祭ノ原たたら・上野波村鉄谷へ操業場所を移す。
天保 9	1838	吉野吉原から山口村奥原へたたら場の操業場所を移す。
天保15	1844	宮本の(現在の)金屋屋・神門社が造営される。
天保15	1844	吉野吉原から山口村奥原へ移転の操業場所を移す。
嘉永 2	1849	上野波村鉄谷へ操業場所を操業する。
文久 2	1862	11山口奥原から一ノ保田村加賀原へたたら場の操業場所を移す。
明治 15	1882	宮本鍛冶屋から出しし、本店を始め山内70戸を有する。
明治 23	1890	12代謙之助直明一家・たたら製鉄の経営を断念し、宮本を去る。
昭和 31	1956	宮本の(現在の)金屋屋・神門社が造営される。
平成 20	2006	宮本鍛冶屋山内70戸・朝日平たたら場・中田櫻井家たたら製鉄遺跡として国史跡に指定される。
平成 21	2009	越章たたら跡・聖谷たたら跡が国史跡に追加指定される。

## 田儀 櫻井家系譜



お問い合わせ  
出雲市役所歴史文化課 TEL0853-21-6893  
(山口修生の森博物館内)  
2019.2 改訂

## 国指定史跡

# 田儀櫻井家たら製鉄遺跡 ～宮本鍛冶山内遺跡～



## 【田儀櫻井家の歴史】

田儀櫻井家は、江戸時代の初期に仁多郡上阿井村(現在の出雲市多伎町奥田儀)へ来住し、製鉄業を起こしたことに始まります。直重の嫡子である直春を田儀櫻井家初代とし、十二代直明が一八九〇(明治二十三)年に宮本の地を後にするまでの約二五〇年間続きました。その間、出雲西部地域の大産業として、多伎町にとどまらず出雲市佐野町や大田市など、隣接する一帯のたたら場を經營しました。田儀櫻井家のたたら製鉄は松江藩の庇護のもとに良港田儀の港を利用した神門郡の大田市工業として発展し、同時に田畠の開墾、道路の開削などにも大きな足跡を残しました。

## 宮本鍛冶山内遺跡とは・・・

田儀櫻井家が経営した「たたら製鉄」の本拠地です。谷間に広がるこの遺跡は、大鐵冶場跡などの生産に関する遺構、田儀櫻井家本宅跡・山内従事者の住居跡などの生活に関する遺構、智光院・金屋子神社・田儀櫻井家墓地や山内従事者墓地などの信仰に関する遺構がまとまって残されています。

これらは、歴史的遺産としての保存状態もたいへん良好で、江戸時代後期（約200年前）における製鉄を軸とした町の様子を一体的に把握することができる、全国でも稀な遺跡群です。

その歴史的価値が評価され、2006（平成18）年1月26日に国史跡に指定されました。



かなみこじんりや  
■金屋子神社

製鉄の神様を祀る神社です。現在は木が生い茂っていますが、宮本の山全体を見渡すことができる場所に立地しています。境内地までは、110段・比高差25mの急な石段が続きます。毎年5月5日には、地元の保存会を中心となってお祭りが行われています。2006・2007（平成18・19）年に石垣と本殿の保存修理が行われました。



さないじゅうこうじょじゅうきゅうあと  
■山内従事者住居跡

石垣が何段にもわたって築かれていますが、これは製鉄に従事した人たちの住居跡であると考えられます。1872（明治5）年には686人もの人々が暮らしていました。



■智光院

田儀櫻井家の菩提寺です。建物内では、立派な欄間や格天井を見ることができます。2007（平成19）年に保存修復が行われました。また、背面部分では2008・2009（平成20・21）年度に施錆調査を行っており、軒下と背面石垣沿いで排水溝を確認しました。



■田儀櫻井家墓地

田儀櫻井家当主とその一族のお墓が並びます。整然と並んだお墓は、田儀櫻井家の歴史の長さを感じさせます。2014（平成26）年から、墓塔と石垣の解体修理、2018（平成30）年からは保存修復を行いました。



■智光院墓地

智光院に隣接して約100基の墓石が確認できます。宮本で製鉄に従事した人々を中心に葬られている墓地です。



■田儀櫻井家本宅跡

現在は敷地内に道が通っていますが、当時はこの平坦地全体が田儀櫻井家本宅の敷地内だったようです。敷地内には、高さ15mの5段に築かれた石垣や大きな手水鉢など、ダイナミックな遺構が残されています。



■大鐵冶場跡(宮本鍛冶跡)

2004・2005（平成16・17）年度の発掘調査で大鐵冶の炉が確認され、かつてこの場所が大鐵冶であったことが証明されました。操業当時は、ここで鉄をたたき鍛える音が宮本の谷全体に響き渡っていたことでしょう。

